

## Media release

2006年10月

### コンバージェンス 2006 AUTOSAR 第二段階

**AUTOSAR は次のラウンドを迎え、  
第一段階は 2006 年末に締結します。**

2006年10月16日 デトロイト 開発パートナーシップの創設から3年、ソフトウェア規格 AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture) は現在では自動車分野では不可欠な部分となっています。最初の開発段階は、“リリース 2.1”で詳細仕様の訂正の発表とともに、2006年末に終了する予定となっており、これら仕様は、自動車業界にとって将来の自動車用エレクトロニクス・アーキテクチャの開発を容易化します。AUTOSAR 要素を組み込んだ最初のモデルは2008年にすでにシリーズ生産に入り、これは将来の車両システムの品質、さらなるイノベティブな開発の可能性における AUTOSAR の多大な貢献を示しています。

最初の3年間の開発作業の結果は、2006年5月より [www.autosar.org](http://www.autosar.org) にてリリース 2.0 として公的に無償でダウンロードが可能で、この仕様はオペレーティングシステム、通信、ハードウェア抽象化およびランタイム環境の定義を含み、すでに産業的利用が可能です。全46作業パッケージのなかで40の作業パッケージが完了しています。この仕様を満たすソフトウェア・コンポーネントは、すでに妥当性検査を行っており、この結果は、現時点で完了していないアーキテクチャ要素とともに、今年末までに準備が整うリリース 2.1 に組み込まれます。

### 第一段階を完結するリリース 2.1

2006年12月のリリース 2.1 の発表とともに、AUTOSAR 開発パートナーシップは重要な段階に達します。規格のモジュール仕様部分が完成され、設計の熟成が産業的利用に必要な水準に達したという十分な確信が生じ、これは AUTOSAR ソフトウェアの製造、車載コントロールユニットへの統合が可能になることを意味します。基本ソフトウェアの設計構成は早期バージョンと比較して改良されてきているため、異なる基本ソフトウェアモジュールからの構成要素も互いにリンクさせることが可能になります。

## 2007年に始動する第二段階

現在、第二段階（2007－2009）へ舞台が整いました。AUTOSAR 開発パートナーシップに参加するすべての企業は、各々の AUTOSAR 準拠製品の実現および販売において、リリースされた仕様を自由に使用することができます；いくつかのメンバーシップ形態が可能です。自由に利用できる規格に関し、メンバーはこの仕様内で用いられている知的所有権のみを公開しています。

2007年1月1日からの第二段階以降、仕様は固められ、追加機能を含むよう展開されます。そこで AUTOSAR 作業グループは、確認試験、仕様の更新および改正、技術的拡張といったような課題に専心します。インフラストラクチャ規格の開発では、安全性（すなわち歩行者保護対策）やマルチメディア／テレマティクス適用等まったく新規の領域も熟慮されます。

“規格での協力－構築での競争”というモットーに則り、すべてのメンバーは AUTOSAR 規格の市場導入に向け各々の計画を確立してきており、2010年までにすべてのコアパートナーは、新たな電子コントロールユニットまたは新たな車世代において AUTOSAR ソフトウェアを実装します。

AUTOSAR は著しい結果を得てきています。競争のプレッシャーにもかかわらず、パートナーたちは技術的成熟、総体的に作成された規格を見出してきており、これは自動車分門における企業の商業的活躍を促進します。特にマルチメディアやテレマティクス部門を手がける企業が AUTOSAR での積極的な役割を果たすことを期待します。

AUTOSAR 開発パートナーシップはコンバージェンス 2006 で 2 回の講演発表を行います。AUTOSAR の会員は前回 2004 年のイベント時の 42 企業から現在では 100 企業を越えています。

**AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture)**は自動車メーカー、サプライヤーまたエレクトロニクス、半導体およびソフトウェアを専門とする企業のグローバルなパートナーシップです。2003年からオープンな標準化された車載ソフトウェア・アーキテクチャの開発と確立に取り組んでいます。AUTOSAR はソフトウェアとハードウェアの交換およびアップデートを容易にし、品質面での妥協なく増大している電気／電子機器の複雑性を管理し、コスト向上させるための技術を可能にします。AUTOSAR のコアパートナーは BMW Group、Bosch、Continental、DaimlerChrysler、Ford、Opel、PSA Peugeot Citroën、Siemens VDO、トヨタ自動車株式会社、Volkswagen で、さらにおよそ 50 社のプレミアムメンバーがパートナー

シッの成功に重要な役割を果たしてきています。AUTOSAR の開発メンバーシップに参加するすべての企業は AUTOSAR 仕様を無償で利用することができます。

お問い合わせ：

[www.autosar.org](http://www.autosar.org)

[media@autosar.org](mailto:media@autosar.org)